

R-SYS PREMIUM <R シスプレミアム>

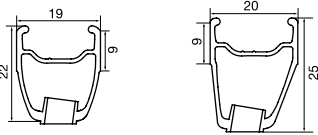


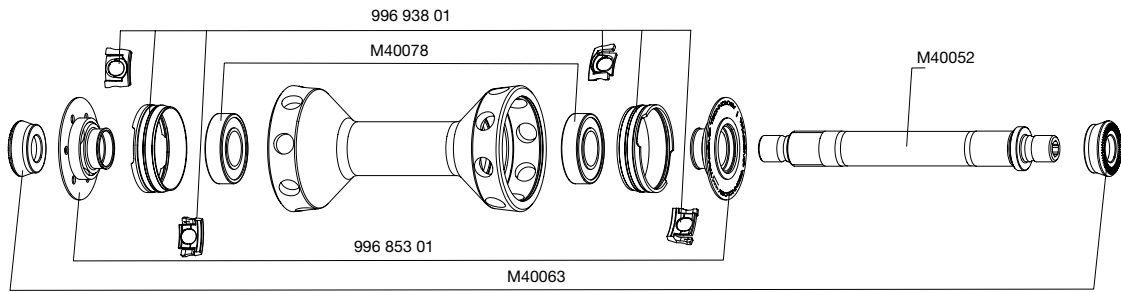
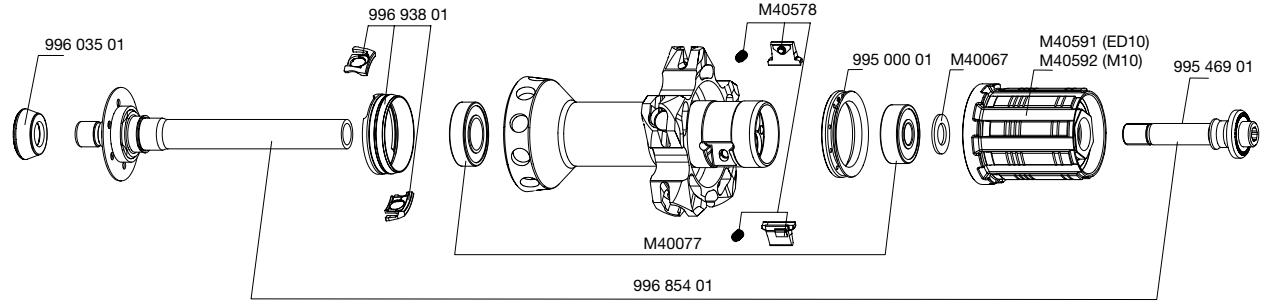

用法：ロードバイク専用。その他の使用（タンデム、シクロクロスバイク、MTB 等）による故障は、ユーザーの責任であり、マヴィックによる保証の対象外となります。
最大積載重量（人荷合計）：100 kg

ホイール重量 （クイックリリースを除く）

フロント： 575 g
リアM10： 800 g
リアED10： 785 g

リファレンス No.

フロント： 996 248 10
リアM10： 996 249 11
リアED10： 996 250 12
ペア M10： 996 378 14
ペア ED10： 996 401 14

<h3>リム</h3>	<p>リファレンス No. クリンチャー：フロント：996 848 10 リア：996 848 13</p>	
	<p>バルブ穴 径  径：6.5 mm 長さ：≥ 32 mm</p> <p>推奨タイヤ幅  寸法：ETRTO 622 x 15 C 推奨タイヤ幅：19 ~ 32 mm</p> <p>リアリムの交換方法： 1. バルブ穴を手前にして、2つの目印のコブがバルブ穴の右にくるようにします。 2. バルブ穴の右の最初の穴に通したスポークが、ハブのフリーホイール側に差し込まれ、ノントラクションスポークになるようにします。</p>	
<h3>ハブ</h3>	<p>メンテナンス：クリーニングは乾いた布で、または必要に応じて、石けんと水で行ってください。 高水圧での洗浄は避けてください。</p>	
		
		
<h3>ホイールの 組み立て</h3>	<p>リファレンス No. および長さ：</p> <p>フロント： 996 849 01、長さ 285 mm（9本、一体型ニップル） フリーホイール側： 996 073 01、長さ 294.5 mm（10本、一体型ニップル） 反フリーホイール側： 996 850 01、長さ 284 mm（10本、一体型ニップル）</p>	
<p>特徴： フロントおよびリアの反フリーホイール側： カーボンチューブ形状スポーク（トラコンプ） リアフリーホイール側：ブラックジカラル製一体型ニップル 付きストレートプルスポーク（セルブロック）</p>	<p>スポーク取り： フロント：ラジアル組み、トラコンプシステム リア：2本組み（フリーホイール側）、ラジアル組み （反フリーホイール側）、トラコンプシステム</p> 	<p>テンション： フロント：70 ~ 100 kg リアフリーホイール側： 90 ~ 110 kg</p>
<h3>アクセサリ</h3> <p>ホイールと同梱の付属品：</p> <ul style="list-style-type: none"> BR 601 フロント用チタニウム製クイックリリース 323 485 01 BR 601 リア用チタニウム製クイックリリース 323 486 01 スポークと一体型のホイールマグネット（フロントホイール） ベアリング調整ハブレンチ M40123（リアホイールに付属） ニップルレンチ 996 079 01（リアホイールに付属） ジカラルニップルレンチ M40567（リアホイールに付属） トラコンプリングツール 996 080 01 ED10 12T ロックリング M40640（リアホイール ED10のみ付属） ホイールバッグ M40135 取扱説明書 	<h3>メンテナンス</h3> <p>フロントアクスルとベアリングの交換 リアアクスルの交換 フリー部のメンテナンスと交換 リアベアリングの交換 トラコンプスポーク取り付け時の重要事項 損傷したトラコンプカーボンスポークの識別 トラコンプリングの取り外し / 再取り付け 振れ取りとトラコンプスポークの取り外し フロントリムの交換 リアリムの交換</p> <p>2005年 TM の p. 20 を参照 2008年 TM の p. 24 を参照 2003年 TM の p. 21 を参照 2008年 TM の p. 24 を参照 2008年 TM の p. 28 を参照 2008年 TM の p. 28 を参照 p. 36 を参照 2008年 TM の p. 30 を参照 2008年 TM の p. 30 を参照 2008年 TM の p. 31 を参照</p> <p>上記の情報をすばやく調べるには www.tech-mavic.com サイトをご覧ください。</p>	

トラコンプスポークニップルは必ず、最初にトラコンプリングをハブから外した後に回してください。そうしないと、スポークが損傷し、修理不可能になる場合があります。すでに取り付けられているもの以外のホイールマグネットは取り付けしないでください。ホイールは必ず、付属のホイールバッグに入れて運搬してください。カーボンスポークが横からの衝撃を受けないようにしてください。